

遠賀川と人と

津森 貴行氏

国土交通省遠賀川河川事務所所長



新しく国土交通省遠賀川河川事務所長になられた津森貴行氏

10月に遠賀川河川事務所所長に着任しました津森貴行です。

松木前所長の後を引き継ぎ、遠賀川の川づくりに、地域の方々と一緒になつて取り組んでいきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

1番地の使命であるわけ

遠賀川河川事務所は河川管理者ですから、遠賀川の整備や保全、施設管理を的確に行なうことが、1丁目

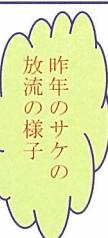
このような深い歴史の中で、数々の大きな水害を経験し、また一方で、地域の産業経済の変革を経験し、このような経過を踏まえて、「安全安心の確保」、「清らかな環境の保全」、「地域づくり支援」といった川づくりを進めているものと認識しています。

これまで既に様々な場面で地域の方々と一緒に取り組む協働関係を深めていますが、今後も引き続き、地域から信頼される取り組みを充実させていきたいと思います。

どうぞよろしくお願ひします。

遠賀川は、筑豊地域を貫流する河川ですが、古くは縄文時代、弥生時代、邪馬台国の時代、また、近代では工業立国日本の礎を築いた筑豊の炭鉱時代など、人々の暮らしと一体となつて育まれてきた歴史深い河川だと感じています。

このように取り組んでいくべきなのか、といった地域づくりの支援も根幹的な使命であると考えています。



電話(090・4581・8649)

同会では放流団体を募集しています。申し込みはNPO法人遠賀川流域住民の会事務局長松岡まで。

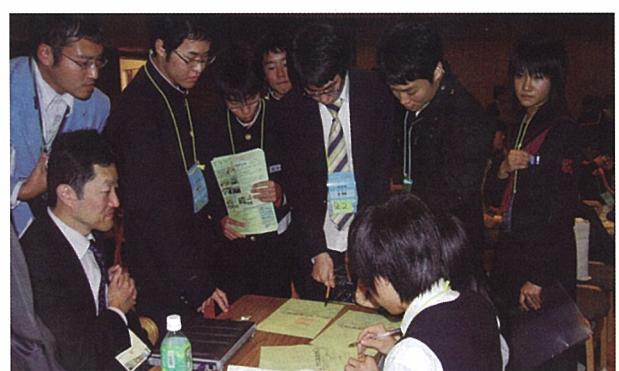
流れができることでしょう。

NPO法人遠賀川流域住民の会では、受精卵を青木宣人氏の指導を仰ぎながらふ化・稚魚の飼育を行っています。平成20年3月には、たくさんの子ども達と一緒に稚魚の放流ができます。

1月末には、鮭はふ化し、順調にいけば3月には放流ができます。

運ばれ、大切にふ化・飼育されます。1月末には、鮭はふ化し、順調にいけば3月には放流ができます。

12月13日(木)に嘉麻市大隈にある日本で唯一の鮭神社で、五穀豊穣を祈る「献鮭祭」が行われます。また、同日は鮭の受精卵が各団体へと



11月23日開催の「アジア・太平洋子ども水交流会」で日本や中国の子ども達と。

第006号
2007・12・15

遠賀川流域だより

サケの稚魚の放流団体募集

柳原白蓮の歌碑建立

10月26日(金)
遠賀川河川敷

「筑豊の炭鉱王」といわれた伊藤伝右衛門の後妻で歌人だった柳原白蓮の歌碑が飯塚市幸袋の遠賀川の河川敷に建立されました。

旧伊藤邸が一般公開されて、観光客が急増したことをきっかけに、もっと川に親しんでもらいたいという願いが実現しました。



「I LOVE遠賀川流域住民交流会in木屋瀬」を開催



基調講演をしていただいた、惠良宏氏（皇學館大名譽教授）



主催 NPO法人遠賀川流域住民の会

9月8日(土)北九州市八幡西区の長崎街道木屋瀬宿「こやのせ座」で「第13回 I LOVE遠賀川流域住民交流会 in 木屋瀬」が開催されました。北九州をはじめ遠賀川流域から約百人が参加しました。

基調講演では、惠良宏皇學館大名譽教授に「遠賀川流域とお伊勢まいり」と題して、戦国時代から伊勢神宮の信仰が九州や遠賀川流域に広がった様子や、当時の住民の文化や暮らしについて講演いただきました。

また、県無形民俗文化財に指定されている「木屋瀬宿場踊り」を保存会の皆さんに、男性は浴衣に三度笠、女性は妻折笠、腰にはちょうどちんをぶら下げた道中姿で、三味線と太鼓に合わせ、勇壮に披露されました。

後半は、遠賀川やその支流で活動している団体の活動報告が行われました。「日本野鳥の会筑豊支部」「川船製作研究会」「遠賀川下り大会実行委員会」「ひこさんのがわ夢の会」「笹尾川水辺の楽校・運営協議会」「おりお堀川を愛する会」「香月・黒川ホタルを守る会」「なかまの環境を良くする会」「堀川再生の会・五平太」の皆さんのがわ夢の活動の様子をお話していました。

芦屋海岸のゴミはみんなの責任！

300人の参加で芦屋海岸の清掃を実施
主催 NPO遠賀川流域住民の会



9月23日(日)芦屋海岸に流れ着いたゴミは、「遠賀川の上流に住む住民の責任」と考える「NPO法人遠賀川流域住民の会」の呼びかけで「第6回芦屋海岸クリーンキャンペーン」が行なわれました。

約三百人が四班に分かれ作業を開始。II時間ほどで約五トンのゴミを回収。今年は、八幡西区の九州共立大学や近畿大学産業理工学部・九州工業大学・福岡工業大学などの学生や、流域の自治体職員・遠賀川河川事務所長や飯塚

市屋町長の参加があり、活動の広がりを感じました。今年も、梅雨時期には約一千三百トンのゴミが河口に流れ着きました。山間部には大量のゴミが捨てられていますし、川土手にはゴミのポイ捨てや、粗大ゴミの投棄などが多く見られます。

「これからは地域で、行政や住民とゴミを捨てられないきれいな環境作りをしていくことが大切」、「海や川に遊びに行つたついでに目に付いたゴミを拾つて持ち帰る」など参加しての感想が寄せられました。

遠賀川が奏でる新しい風

平成15年7月19日の集中豪雨により、飯塚市地方は大きな被害を受けました。その後、この洪水への対策事業に着手した国土交通省遠賀川河川事務所では、治水・利水・自然環境・利活用などの様々な面から、居心地のいい安らぎと愛着のある遠賀川をめざして、住民や関係機関・自治体との連携で川づくりの話し合いを進めてきました。

今回、白蓮の歌碑建立は、そうした中での住民の熱い思いが実ったものです。来年には旧芳雄橋の歴史を受け継ぐ橋として芳雄橋も生まれ変わります。嘉穂劇場と旧伊藤邸を結ぶ新しい風景がお目見えします。

そして、「川船製作研究会」で、現在製作中の「川ひらた」もその水辺に浮かぶことになるでしょう。遠賀川の大切に思う気持ちと共に：



2008年完成予定の芳雄橋

デザインについて、クラシック案とダイナミック案を検討、市民の声からクラシック案となりました。



川船製作研究会「川ひらた」製作中

これまでにミニチュアの「川ひらた」を三隻作った「川船製作研究会」は2009年完成をめざして、原寸大の「川ひらた」を製作中。完成した「川ひらた」は「NPO法人ふるさと幸袋まちづくり支援センター」に寄贈。旧伊藤邸そばの船着場から船を出し、新たな観光名所として活躍されることでしょう。

20回目を迎えた「I LOVE 遠賀川」

遠賀川に恩返し



昭和63年10月に第一回目を開催し、早いもので流域住民に愛され取り組まれてきました。「I LOVE 遠賀川」が10月14日(日)飯塚市の河川敷で3千人が参加して、20回目の開催を迎えました。

20年前を振り返ると、遠賀川は在つて当たり前の川でした。遠賀川の清掃をしようと集まつた実行委員で「遠賀川」について真剣に論議しました。そして清掃活動を通じて「遠賀川に恩返し」をと呼びかけ、現在では毎年約3千人の人々がこの取り組みに参加しています。



曾根靖史実行委員長挨拶



斎藤守史飯塚市長挨拶

筑豊盆地を囲む「父なる山々」太鼓の時代から流れ続ける「母なる遠賀川」この自然の恵みの中でも今日も「遠賀川」の水が私たちの体の中を流れています。生命を營む血液となって、「遠賀川」は私たちの生命そのものです。

「遠賀川」が、今の私たちにあまりにも近づいて見えなくなっています。このではないでしょうか。美しい豊かな自然が、永遠の資源であり大切な財産であることをいま「母なる遠賀川」に、あなたのやさしさが欲しいのです。

今から先も、私たちの遠賀川の、豊かな自然を大切な財産を守ることが流域住民の望みです。



旧犬鳴峠清掃統一作業を実施

主催：宮若川づくり交流会

宮若市の犬鳴峠に近い旧県道沿いに、不法投棄されている大量のごみを撤去するため、11月18日(日)「宮若川づくり交流会」の呼びかけで約50人が作業を行ないました。近くには犬鳴川水系の峠川が流れおり、宮若市をはじめ、鞍手町や中間市・北九州などの水道水や工業・農業用水として使われています。同会では、豊かな自然を守っていくためにも、ゴミの撤去作業を今後も続けていくということです。



彦山川・中元寺川・河川清掃

主催：福智町ボランティア連絡協議会

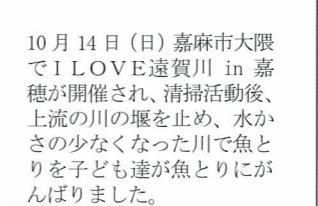
福智町で10月14日(日)、合併して新たに発足「福智町ボランティア連絡協議会」の主催で110人が、河川敷の清掃ました。下流は彦山川の上野橋から、上流は金田大橋、から、彦山川・中元寺川の合流地点をめざし、に清掃活動を行いました。あまりにもゴミの多からボイ捨てなどがが多く、捨てられているゴ



活動を実施

主催：ILOVE遠賀川 in 嘉穂実行委員会

した「福智町ボランティア連絡協議会」の主催で110人が、河川敷の清掃ました。中元寺川の平和橋遊歩道沿いを中心としてびっくり。県道ミを見て「非常識よ



I LOVE 遠賀川 in 嘉穂を開催

主催：ILOVE遠賀川 in 嘉穂実行委員会

10月14日(日)嘉麻市大隈でILOVE遠賀川 in 嘉穂が開催され、清掃活動後、上流の川の堰を止め、水かかる少なくなった川で魚とりを子ども達が魚とりにがんばりました。



河川敷のゴミ拾いと草刈り作業を実施

主催：田川ふるさと川づくり交流会

田川ふるさと川づくり交流会では、「彦山川をより良い環境にするために」と検討を進めてきました。先ず、河川を知ろうと、例会前にゴミ拾いや、12月2日(日)は番田河原の草刈りを行いました。



遠賀川の生きものたち

中島の生きもの達(中間市)



前と比較すると現在はヨシ原よりオギが広がってきている様子が分かる。湿地帯が減少、オギやセイタカアワダチソウが増加。



10月28日に撮影。
獣道がいっぱい。



だれの忘れ物。大きな大きな木々に守られて。



生存競争の激しさを感じました。



11月半ばといふのに、「ウグイスの声を聞き、春に咲く花を見る」変なことになっています。季節がなくなり、自然がなくなってしまうのでは。



まるまると

手袋に乗って

てんとう虫の赤ちゃん

ほたる飛び交う「ふるさとづくり」をめざして

コスモス花鑑賞会を開催

主催

ふるさとまちづくりの会



遠賀川の支流である黒川下流（北九州市八幡西区香月西）の河川敷を整備し、ほたるの生育環境づくりや河川敷に「コスモス花いっぱい運動」を開催しました。約3百人の園児や小学校の児童・地域の皆さんが、きれいに咲き誇ったコスモスを前に写真撮影や香りを楽しんでいました。

また、参加者全員でアドバルーンを飛ばしたり、自画像のカンバツチを作つてもらつたり、焼きそばをたくさん食べるなど、たのしい一日を過ごしていました。



河川敷を住民が集える場所に！

河川敷草刈・焼却・清掃作業を実施

主催 「小竹に住みたい」まちづくりの会



お手伝いをいっぱいしたよ。



焼き芋も残り火でおいしくなりました。



作業の後はみんなでカレーをいただきました。



きれいな砂浜に水鳥の足跡が。

11月25日（日）小竹町役場前遠賀川河川敷で、地区の環境美化運動終了後に、『小竹に住みたい』まちづくりの会主催で、会員や一般に呼びかけ、約百人が、河川敷の草刈りや焼却、ごみ拾い等の清掃作業を行ないました。

河川敷は約一・五㌶の広さですが、建設会社などが草刈り機やショベルカーを提供し、カヤなどを刈り取り、そして焼却、みるみるうちにきれいになりました。

『小竹に住みたい』まちづくりの会は、河川敷を住民が憩える場所にしようと、昨年に結成され、今年4月に引き続いて二回目の作業が行われました。



秋も楽しく川で遊ぼう

「遠賀川わくわく夢フェスタ」開催



平成19年11月4日(日)直方市遠賀川河川敷で、カヌーやEボートに乗ったり、おもしろ自転車に乗ったり、凧揚げや大玉ころがし、青空教室や、大人たちの遠賀川いかだレースが行なわれるなど、遠賀川の緑の河川敷で、柔らかな秋の日差しのもと、「遠賀川わくわく夢フェスタ」が開催され、遠賀川がたくさんの人でぎわいました。

子ども達の遠賀川「夢」宣言が元気よく宣言されました。



青空教室開催



科学の実験ではないのですが、青空の下、水の汚れなどを調べるCODの検査や、なぜ、川が汚れてくるのかなどの紙芝居を見ながら、お兄さんに説明をしていただきました。日ごろ接することの少ない、遠賀川河川事務所の職員に説明をしていただき、良い経験になったのでは。

遠賀川いかだレース 成績発表

成績		
優勝	小竹龍舞龍舞会 A	4分37秒
準優勝	ダッ勝す。	4分43秒
3位	小竹龍舞龍舞会 B	4分45秒
4位	team DSP	5分08秒
5位	遠賀川ダンディーリバース	5分55秒
6位	直方シティーボーイズ	6分20秒



主催者が準備したいかだでタイムを競います。5分間の壮烈な戦い。いよいよスタート。



遠賀川流域だより

発行 国土交通省遠賀川河川事務所
住所 直方市溝堀1丁目1-1
電話 (0949) 22-1830
FAX (0949) 22-2859
<http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>
編集 NPO法人遠賀川流域住民の会
電話 080-1761-6892
<http://www.ongagawa.jp/>

春と秋に堤防の草刈りを行い、その後の焼却などで住民の皆様にはご迷惑をおかけしております。堤防の草刈りは、堤防の安全や美観、防犯等における重要な作業ですので、皆様のご理解をお願いします。